



保証書

ご使用前にお読みください。

2501M/2501A ユーザーガイド

保証規定

当製品ご購入から1年間（12ヶ月）に限り、通常の使用状態において、万が一故障した場合、該当製品を無償にて修理致します。

なお、修理が困難な場合、同等品との交換となる場合があります。

保証期間内であっても以下のような場合は有償修理となります。

- ・お客様の不適切な取扱が原因で故障、破損が生じた場合。
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天地異変などによる故障及び破損の場合。
- ・弊社の修理部門以外で修理や改造などを行った製品。
- ・部品や付属品などの破損及び遺失等。

マニュアルをよく閲覧された上、製品をご使用ください。

より詳細な保証内容、条件、使用方法等につきましては、弊社のマニュアル及びホームページにてご確認ください。

【製品情報】 <http://www.gechic.com>

モデル： On-Lap2501M ノート型モニター

シリアル No：

購入日付：

売店：

(売店のスタンプ)

1年
保証

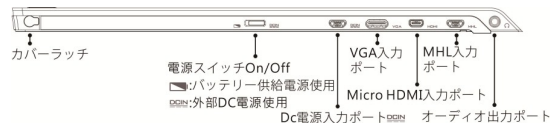
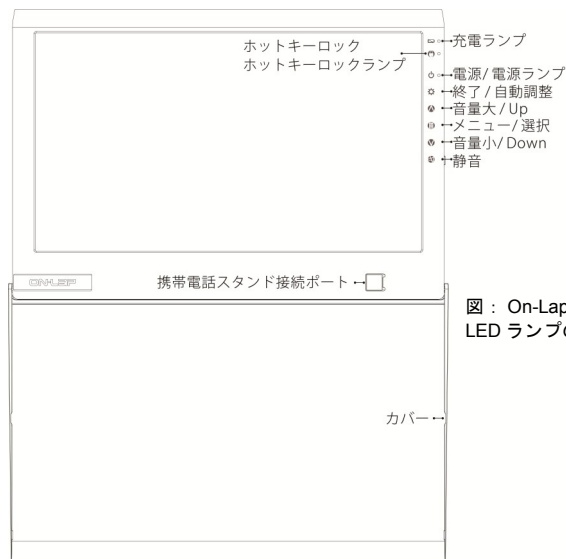
目次

| | |
|-------------------------------------|-----|
| 第1章 On-Lap ノート型モニターの説明 | —1 |
| 第1節 On-Lap ノート型モニター本体と付属品の説明 | —1 |
| 第2節 On-Lap ノート型モニターの注意事項 | —2 |
| 第3節 警告 | —3 |
| 第4節 安全にご使用いただくために | —3 |
| 第5節 製品の修理 | —3 |
| 第6節 液晶ディスプレイの画素について | —3 |
| 第7節 電気・電子廃棄物とバッテリーの処理 | —3 |
| 第2章 装着方法に関する説明 | —4 |
| 第1節 バッテリーの充電 | —4 |
| 第2節 カバーの装着と使用 | —5 |
| 第3節 スタンドブリックの装着と使用 | —5 |
| 第4節 ケーブルの接続 | —5 |
| 第5節 Micro USB 電源ケーブルの接続 | —6 |
| 第6節 携帯電話スタンド | —7 |
| 第3章 On-Lap モニターの起動と終了 | —7 |
| 第1節 On-Lap の起動と終了 | —7 |
| 第2節 拡張モニター表示方法の設定 | —8 |
| 第4章 ホットキー、LED ランプと OSD の使用方法 | —10 |
| 第1節 ホットキーと LED ランプの説明 | —10 |
| 第2節 OSD の説明 | —11 |
| 第3節 低電圧保護の警告 | —14 |
| 第5章 仕様説明 | —14 |
| 第1節 プラグアンドプレイ | —14 |
| 第2節 コネクタのピン配列説明と標準設定モード | —14 |
| 第3節 仕様 | —16 |
| 第4節 トラブルシューティング | —16 |

第1章 On-Lap ノート型モニターの説明

第1節 On-Lap ノート型モニター本体と付属品の説明

1. 各部位の説明

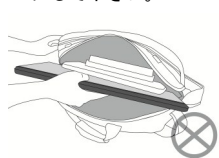


2. 同梱内容と付属品の説明

| 付属品 | 2501M | 2501A |
|---------------------|------------|------------|
| カバー *1 | ○ | ○ |
| Micro HDMI ケーブル *1 | ○ | ○ |
| VGA ケーブル *1 | ○ | ○ |
| MHL ケーブル *1 | ○ | -- |
| Micro USB 電源ケーブル *1 | ○ | ○ |
| 充電器 (5V/最大 2A) *1 | (別売りオプション) | (別売りオプション) |
| 携帯電話スタンド *1 | (別売りオプション) | (別売りオプション) |
| スタンドブリック *2 | ○ | ○ |
| マジックベルト *1 | ○ | ○ |
| クイックスタートガイド *1 | ○ | ○ |
| ユーザーガイド *1 | ○ | ○ |

第2節 On-Lap ノート型モニターの注意事項

- On-Lap の上に重い物を置かないで下さい。On-Lap を携帯バッグに入れる際、On-Lap を押し込んだり、重圧をかけないで下さい。
 - On-Lap が圧迫されたり押し込まれると、液晶パネルが破裂する場合があります。
 - On-Lap を携帯バッグに入れる前に、まずカバーを装着して下さい。また、ノート PC やその他の重い物を On-Lap の上に入れしないで下さい。
 - 携帯バッグが衝撃を受けたり圧迫されて中の On-Lap が損傷しないようにして下さい。



図：ノート PC 等の重い物を On-Lap の上に載せない。



図：衝撃による On-Lap の損傷を避ける。

- 携帯電話を携帯電話スタンドへ入れる際、携帯電話スタンドが滑り落ちて電話が損傷しないよう、移動しながら使用しないで下さい。
- On-Lap2501M 等のバッテリー内蔵機種を携帯して外出する際は、「電源スイッチ On/Off」を **ON** (DC 電源入力) に切り替えて下さい。**バッテリーが放電し続けて電源を失います。充電器でバッテリーを充電した後は、電源ケーブルを抜いて下さい。バッテリーの充電を頻繁に繰り返すと、電池の使用壽命が縮まります。過度のバッテリー充電を避けるため、室内で長時間ご使用になる場合は、「DC 電源入力」を選択し、外出時には「バッテリー」入力を選択してください。**

- スマートフォンを使用して On-Lap2501 に映像を出力する場合、動画または画像の解像度が低いと、On-Lap2501 で映像を大きくした際、不鮮明になります。高解像度のファイルを再ダウンロードすると改善されます。動画が On-Lap2501 モニターの一部のみに出力され、フルスクリーンにできない場合は、携帯電話カメラの映像信号の出力フォーマット、または動画のファイル形式が制限されている場合がありますので、携帯電話の映像出力機能の説明を確認して下さい。

第3節 警告

- 本製品は、倒れたり落下すると重大なダメージが生じるおそれがあるため、不安定な机やキャビネットやカートの上などに置いたり、車両の中で使用しないでください。本製品を振動する環境に置かないで下さい。持続的な振動によって、内部の部品が故障するおそれがあります。
- 本製品は、40°C (104°F) 以上、または 0°C (32°F) 以下の環境で使用しないでください。本製品は充電器もしくはバッテリーで充電します。本製品を 45°C (113°F) 以上、または零下 10°C (14°F) 以下の環境で保管しないでください。**本製品には防水機能がありません。湿気を帯びた環境や、そばに水がある場所で使用しないで下さい。**
- 一部の On-Lap 機種に内蔵されるバッテリーは、45°C 以上の環境で保管しないで下さい。**警告：バッテリーを火気の中へ廃棄しないで下さい。爆発するおそれがあります。**
- 戸外や湿気を帯びた環境で充電器を使用しないで下さい。ケーブルやプラグを取り替えないで下さい。
- 本体カバーの孔や隙間から物を差し込まないで下さい。
- 大音量に関する警告：聴覚を損なうおそれのある音量で使用しないでください。イヤホンを使用する前は、必ず音量の設定を確認してください。

第4節 安全にご使用いただくために

ユーザーガイドを詳細にお読み下さい。ユーザーガイド内の操作や注意事項を遵守し、本ガイドを保存して下さい。

第5節 製品の修理

本製品が故障した場合、お客様ご自身で修理せず、専門の修理スタッフに依頼してください。経年使用による消耗・摩擦や誤使用による破損・故障は保証の対象となりません。不慮の事故、お客様ご自身によるソフト・ハードの変更や調整、天災を含む不可抗力、液体接触による破損などが製品にもたらず故障も保証の対象となりません。

次の状況に該当する場合は、修理スタッフに相談して下さい。

- ユーザーガイドの操作方法に従っても、正常に使用できないとき。
- 製品が落下し、筐体が破損したとき。
- 電源ケーブルやビデオケーブルが破損、摩擦、断裂したとき。
- 液体が製品内部に入ったとき。

第6節 液晶ディスプレイの画素について

本製品に使用されている液晶パネルは高精度な技術で製造されていますが、画面の一部に点灯しない画素、黒点や赤点がある場合があります。また見る角度により色むらや明さのむらがある場合があります。これは液晶ディスプレイの構造によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、予めご了承ください。

第7節 電気・電子廃棄物とバッテリーの処理

本製品は適切にリサイクルし、家庭ごみの中に混ぜないで下さい。一部機種に内蔵のバッテリーの処理は、指定のバッテリーリサイクル先、または専門のリサイクルサービス機関へ依頼して下さい。

第2章 装着方法に関する説明

第1節 バッテリーの充電（2501Mに適用、2501Aは充電不要）

注意：初めてご使用になる前に、5V/2A 充電器で7時間充電して下さい。2回目以降のご使用時には、バッテリーがフル充電され、バッテリー表示横の黄色いLEDランプが消えてから電源ケーブルを抜きます。以下のステップに従って充電して下さい。

ステップ1: Micro-USB 電源ケーブルを接続、「電源スイッチ」On/Offを「USB電源」に切り替える

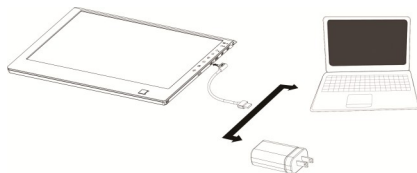
カバーを開け、下図のように Micro-USB 電源ケーブルを使用して On-Lap2501 を、ノート PC の USB ポートまたは 5V 2A/1A 充電器と接続します。「電源スイッチ」が「**ON**」(外部 DC 電源) に切り替えられていることを確認して下さい。

「電源スイッチ」On/Off が「バッテリー」に切り替えられていると、バッテリーは放電し続けます。ディスプレイとして使用しない状態であっても、電源はおよそ5日間に以内に消耗します。

注意：On-Lap2501 に映像入力しないで下さい。

On-Lap2501 が起動している状態でのみ、バッテリーの充電ができます。On-Lap2501 を使用して映像を表示するとき、電源を使いきってしまうとバッテリーの充電はできません。

図：Micro USB ポートにノート PC または 5V 充電器を接続



ステップ2: ノート PC または充電器を起動する。この時、バッテリー表示横の黄色いLEDランプの点灯は充電中を示す。

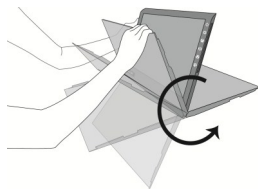
ステップ3: Micro USB 電源ケーブルを抜く、または連続で充電する。

On-Lap2501M のバッテリー容量は 9,300mAh です。バッテリー充電時間が7時間に達するとバッテリー内部の保護回路が自動的に充電を停止します。この時バッテリーがまだフル充電ではない場合は、電源ケーブルを抜き、改めて電源ケーブルを接続すると充電が継続できます。バッテリーがフル充電され、バッテリー表示横の黄色いLEDランプが消えてから電源ケーブルを抜きます。[バッテリー容量については第4章第2節を参照]

第2節 カバーの装着と使用

1. カバーはフレーム立てとして使用します。図のように、カバーを開き、カバーをモニター背面に裏返して、机上に置きます。

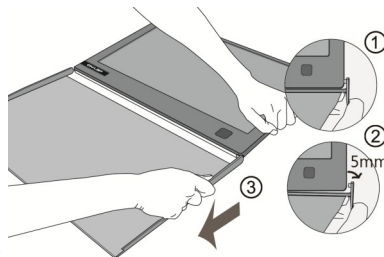
図：カバーをモニター背面に裏返し、机上に置く



2. カバーの解除と装着

図のように、カバーを開いてモニターとともに机上に並べます。片手でモニターを固定し、もう片方でカバーを外向きに約5mm押し開き、矢印の方向へ取り外します。カバーを装着するには、まずカバーの左側留め具をモニターのラッチへ挿入します。次に右側留め具を外向きに約5mm押し開き、右側ラッチに挿入します。

図：片手でモニターを固定、もう片方でカバーを外向きに約5mm押し開き、矢印の方向に引いてカバーを取り外し



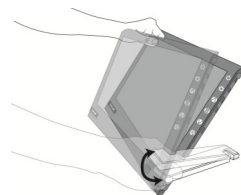
第3節 スタンドブリックの装着と使用

ステップ1. カバーを外す

ステップ2. スタンドブリックを装着

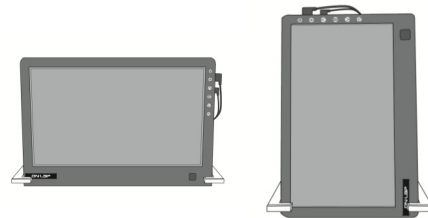
図のように、左手で On-Lap2501 の左側を掴み、スタンドブリックを On-Lap2501 の右側に装着します（開口部が広い方でモニターの右側をはさむ）。スタンドブリックを上下に移動させ、On-Lap2501 の傾斜角度を調整します。角度調整ができれば、もう一方のスタンドブリックを左側に装着します。

図：On-Lap2501 右側にスタンドブリックを装着。スタンドブリックを上下に移動して On-Lap2501 の傾斜角度を調整



下図のように、On-Lap2501 は水平または垂直方向に表示できます。

図：スタンドブリックを使用して On-Lap2501 を水平表示または垂直表示に



第4節 ケーブルの接続

On-Lap2501 は、HDMI 入力、VGA 入力、MHL 入力（2501M 等の機種のみ MHL 入力に対応）等の 2～3 種類の映像入力に対応しています。

1. Micro HDMI 入力ポート使用による入力方法

図のように、Micro HDMI ケーブルの Micro HDMI (D タイプ) 端子を On-Lap2501 の Micro HDMI 入力ポートに接続します。もう一方の HDMI (A タイプ) 端子は、ノート PC ・ タブレット PC ・ ゲーム機 ・ DVD 等の機器の HDMI 出力ポートに接続します。

図： HDMI ケーブルの接続方法

注意：携帯電話を接続する際は、別売りの HDMI (A タイプ) メス-Micro HDMI オス変換コネクタの購入、または携帯電話メーカー提供のコネクタの購入が必要となる場合があります。デジタルカメラを接続する際は、別売りの HDMI (A タイプ) メス-mini HDMI オス変換コネクタの購入が必要となる場合があります。

2. VGA 入力ポート使用による入力方法

図のように、VGA ケーブルの専用端子を On-Lap2501 の VGA 入力ポートに接続します。もう一方の D-Sub 端子はノート PC の D-Sub/ VGA 出力ポートに接続します。

図： VGA ケーブルの接続方法

3. MHL 入力ポート使用による入力方法

図のように、MHL ケーブル端子を On-Lap2501 の MHL 入力ポートに接続します。もう一方の端子はスマートフォンの MHL 出力ポートに接続します。

注 1： On-Lap2501 は MHL 映像入力に対応していますが、携帯電話の充電は行いません。

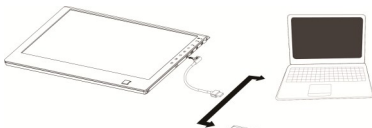
注 2： 携帯電話 **Samsung Galaxy S3** の MHL ポート (11 ピン) と、その他製品の MHL ポート (5 ピン) のピン定義は異なります。よって、On-Lap2501 の MHL 映像入力ポートとは直接接続できません。Samsung Galaxy S3 をご使用の際は、Samsung メーカーの Galaxy S3 専用 MHL ケーブルを使用した場合にのみ、映像信号が出力されます。

注 3： 携帯電話の MHL 出力機能が即時に起動しない場合、携帯電話を再起動すると、携帯電話 MHL ポートから映像信号が出力されます。

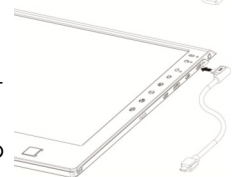
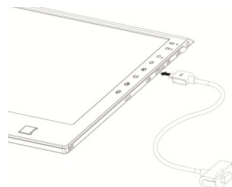
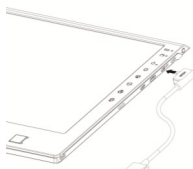
第 5 節 Micro USB 電源ケーブルの接続

ステップ 1. Micro USB 電源ケーブルを接続

図のように、Micro USB 電源ケーブル端子を On-Lap2501 の DC 電源入力ポート **DC IN** に接続します。もう一方の端子はノート PC の USB ポートまたは 5V/2A 充電器に接続します。



図： Micro USB 充電ケーブルをノート PC または 5V 充電器に接続



図： MHL ケーブルの接続方法

ステップ 2. 「電源スイッチ」 On/Off の切り替え

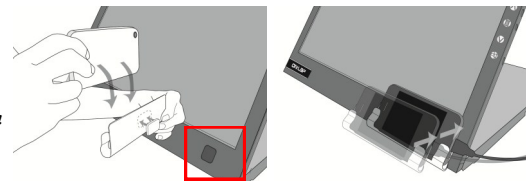
「電源スイッチ」 On/Off を、**DC IN** (DC 電源入力) に切り替えます。

On-Lap のバッテリー供給電源を使用する場合は、USB 電源ケーブルの接続は不要です。「電源スイッチ」 On/Off を **DC IN** (バッテリー) に切り替えて下さい。

第 6 節 携帯電話スタンド (別売りアクセサリ)

ステップ 1. メタルプレートを携帯電話スタンドの背面に貼りつけ、携帯電話スタンドを On-Lap2501 に付着させる

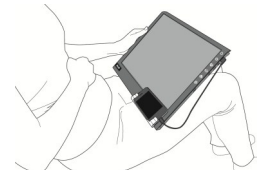
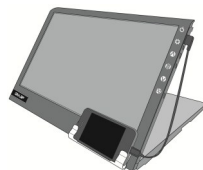
図のように、まずメタルプレート背面の両面テープを剥がし、メタルプレートを携帯電話スタンドの背面に貼り付けます。携帯電話スタンドに貼ったメタルプレートを On-Lap2501 の携帯電話スタンドポート (**四角いくぼみ**) に合わせて挿入します。携帯電話スタンドは On-Lap に付着します。



図： 携帯電話スタンドの装着方法

ステップ 2. 携帯電話を携帯電話スタンドに入れる

Micro HDMI ケーブルまたは MHL ケーブルを使用して、携帯電話を On-Lap2501 に接続します。その後、携帯電話を携帯電話スタンドへ入れます。図のように、On-Lap2501 と携帯電話を机上に置いて、または手に持って使用できます。



図： On-Lap2501 と携帯電話を机上に置いて使用

図： On-Lap2501 と携帯電話を手を持って使用


第 3 章 On-Lap モニターの起動と終了

第 1 節 On-Lap の起動と終了

- 初めて使用する際、On-Lap の USB 電源ケーブルを 5V DC 電源に接続すると、On-Lap は自動で起動し、外部の映像信号を検索して自動的に映像を表示します。
- 電源オフ状態から起動させる場合、**電源ボタンを押す**と、On-Lap が起動します。
- On-Lap の起動中に **電源ボタンを押す**と、On-Lap が終了します。
- 以下のステップを参照の上、モニター表示方法を設定して下さい。

第2節 拡張モニター表示方法の設定


1. 拡張モニターの設定 – Windows 7/Windows8 の場合

- 左下のをクリックすると、メニューが表示されます。
- コントロールパネルをクリック>デスクトップのカスタマイズをクリックします。
- ディスプレイ<外部ディスプレイへの接続>をクリックします。ディスプレイの②を選択します。通常は1.がノートPCのモニター、2.が外付けのOn-Lap モニターとなります。分からない場合は、**識別**で確認します。
- ディスプレイ (S) で「2.HDMI」（デジタル映像）または「2.表示デバイス：VGA」（アナログ映像）を選択します。
- 解像度 (R) で「1366x768」を選択します。
- 向き (O) で「横向き」、または垂直モードの場合「縦向き（回転）」を選択します。
- 複数のディスプレイ (M) で「表示画面を拡張する」を選択し、②の画面を①の画面の右側にドラッグします。同時表示（クローン）モードの場合は「表示画面を同時表示する（複製する）」を選択します。
- 「OK」をクリックし、設定を保存して閉じます。



【Windows8 でデュアルモニターシステム設定に変更があれば、公式 Web ページで別途お知らせします。】

2. 拡張モニターの設定 – Windows XP の場合

- をクリックします。
- 設定>コントロールパネル>デスクトップの表示とテーマをクリックします。
- 画面解像度を変更するをクリックします。
- 設定をクリックし、ディスプレイで On-Lap モニターを選択した後、解像度で「1366x768」を選択します。
- [Windows デスクトップをこのモニター上で移動できるようにする]を選択し、「OK」をクリックします。「OK」をクリックして終了します。

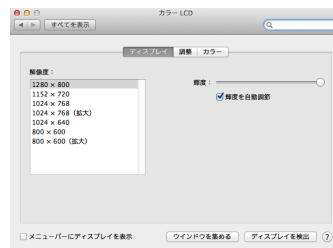


【注意：Windows XP では「垂直モード」を直接調整できず、ビデオカードの調整が必要です。ご使用のビデオカード指導ガイドを参考にして下さい。】

3. 拡張モニターの設定 – Mac OS X の場合

注意：この設定には、別途「Mini Display Port – HDMI 変換コネクタ」を購入し、Micro HDMI ケーブルの HDMI (A タイプ) 端子をコネクタの HDMI (A タイプ) メスに接続して下さい。

- ディスプレイをクリックします。
- Mac の画面上に、下の図が表示されます。



- On-Lap モニターに、下の画面が表示されます。画面の解像度を 1366×768 に調整して下さい。



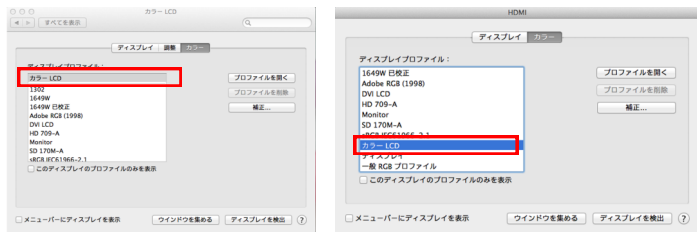
- 配列モードを選択、モニター表示位置を調整すると、デュアルディスプレイモード（Mac メインモニター）となります。



4. Mac OS X の場合-Mac と On-Lap モニターの表示効果の設定

On-Lap と Mac の表示色の違いを軽減するため、以下に従って設定調整すると、最適な効果が得られます。

注意: Mac Book Pro の液晶モニターと HDMI の色設定を一致させる必要があります。



- 「ディスプレイ」を選択し、Mac Book Pro を設定します。
- 2 つの LCD 設定があり、Mac のモニター（カラー LCD）と On-Lap モニター（HDMI）に分かれています。
- 2 つの LCD の設定をすべて同じにします。【上部左右の図の画面の通り、両画面とも「カラー LCD」とします。】
- 次に OSD 色の調整-色温度の調整を行います。（本ユーザーガイド P.12 4 項を参考にしてください。）
- R/G/B の彩度を調整します。赤色→54 まで Up、緑色→52 まで Up、青色→53 まで Up。

上記数値はあくまで参考としての推奨設定値です。ユーザーは用途に応じて調整してください。

第 4 章 ホットキー、LED ランプと OSD の使用方法

第 1 節 ホットキーと LED ランプの説明

注意事項: ホットキーは静電容量センサボタンであり、指先でボタン表示の中心を軽くタッチすると反応します。力を入れて押しすぎると素早く連続で押しすぎないで下さい。瞬間的に連続で押しすぎるとボタンは反応しません。必要に応じて「大/Up」または「小/Down」を押して連続調整します。ボタンを長押しすると、自動的に連続で増加/減少します。同時に 2 つのホットキーをタッチしないで下さい。ボタンが反応しないか、誤反応をする場合があります。

1. LED ランプの説明

- 充電ランプ: 充電中、黄色く点灯します。バッテリーがフル充電されるか、充電時間が 7 時間に達するとランプが消えます。
- ホットキーロックランプ: ボタンをロックすると、その他のホットキー機能は停止し、オレンジ色に点灯します。
- 電源ランプ: On-Lap 起動中、緑色に点灯します。待機モード中は赤色に点灯します。終了時、ランプは消えます。

2. ホットキーの説明

- **ホットキーロック:** ロックボタンは「5 秒間」長押しすると作動します。5 秒間長押しすると、その他のホットキー機能は停止し、使用できません。再度押しすると機能が回復します。On-Lap を手に持って使用する際、ロックボタンを使ってホットキー機能をロックすると、ホットキーの誤操作を回避できます。
- **電源:** 電源ボタンを押すと起動、または電源オフとなります。
- **終了/自動調整:** OSD メニュー使用中にこのボタンを押すと、終了して一つ前の OSD メニューに戻ります。OSD メニューがないときにこのボタンを押すと、自動調整機能が作動します（VGA アナログ映像入力信号の場合のみ）。
- **音量大/Up:** 押すと音量が上がります。OSD メニューの起動後に押すと、ブラウザメニューを戻します。長押しすると自動的に連続で上がります。
- **メニュー/選択:** メニューボタンを押すと OSD 設定画面を起動します。OSD メニューの使用中にこのボタンを押すと、選択の確認が表示され、次の OSD メニューに進みます。
- **音量小/Down:** 押すと音量が下がります。OSD メニューの起動後に押すと、ブラウザメニューを進めます。長押しすると、自動的に連続で下がります。
- **静音:** 静音ボタンを押すと、On-Lap スピーカーをロックできます。再度押しすと、音量出力が回復します。

電源スイッチ On/Off:

DC IN (DC 電源入力) に切り替えると、外部入力の 5V DC 電源を使用します
 に切り替えると、内蔵バッテリーの供給電源を使用します。



図: On-Lap2501M 入出力ポートの説明

第 2 節 OSD の説明

1. バッテリー容量の表示: OSD を起動後、画面右上角の表示 [] がバッテリー容量の状態を表します。
2. ボタンによる基本的操作の説明
 - ボタンを押すと、OSD メニューが表示されます。▲・▼を押して、メニュー内容の表示を上下に移動させます。調整機能を作動させたい場合は ◀・▶を押します。選択した機能にサブメニューがある場合は ▲・▼を押すと表示されます。調整したい機能を選択するときは ◀・▶を押します。▲・▼を押して選択した機能の設定を変更します。終了するときは ⚙️を押すと自動的に終了します。その他の機能を調整するときは上述のステップを繰り返して下さい。

3. 色の調整 - コントラスト

④を押して OSD 画面を表示させます。▲・▼を押して ③に合わせ、⑤を押して選択します。▲・▼を押して **コントラスト** に合わせ、⑤を押して選択し、▲・▼を押してコントラストを調整します。→0-100 の範囲でコントラストを調整。長押しすると連続してアップ/ダウンします。⚙️を押して終了します。



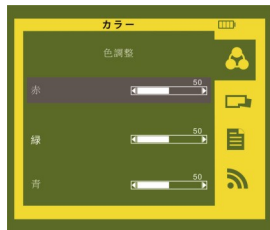
4. 色の調整 - 輝度

④を押して OSD 画面を表示させます。▲・▼を押して ③に合わせ、⑤を押して選択します。▲・▼を押して **輝度** に合わせ、⑤を押して選択し、▲・▼を押して輝度を調整します。→0-100 の範囲でバックライトを調整。長押しすると連続してアップ/ダウンします。⚙️を押して終了します。



5. 色の調整 - 色温度の調整

④を押して OSD 画面を表示させます。▲・▼を押して ③に合わせ、⑤を押して選択します。▲・▼を押して **色温度調整** に合わせ、⑤を押して選択します。▲・▼を押して、R/G/B の彩度をそれぞれ調整します。赤→画像の「**赤色**」の彩度をアップまたはダウン。緑→画像の「**緑色**」の彩度をアップまたはダウン。青→画像の「**青色**」の彩度をアップまたはダウン。⚙️を押して終了します。



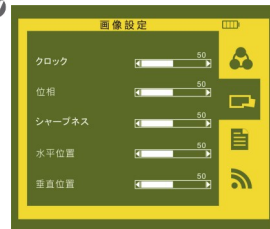
6. 色の調整 - 色温度

④を押して OSD 画面を表示させます。▲・▼を押して ③に合わせ、⑤を押して選択します。▲・▼を押して **色温度** に合わせ、⑤を押して選択します。▲・▼を押して調整します。暖色の色温度 6500K→暖色の色温度に回復。冷色の色温度 9300K→冷色の色温度に回復。カスタム設定→初期設定の色温度に回復。⚙️を押して終了します。



7. 画像の調整 : 入力ビデオ信号が VGA のときのみにも適用

④を押して OSD 画面を表示させます。▲・▼を押して ③に合わせ、⑤を押して選択します。▲・▼を押してサブメニューを表示させ、⑤を押して選択し、▲・▲で調整します。**クロックレート**→水平スキャンレートを調整します。レートが適切でない場合は、画面に垂直の線が現れ、画面幅が正確に表示されなくなります。**フェーズ**→ピクセルクロックのフェーズを調整します。調整が適切でない場合は、明るい画像が表示されるときに水平の画面障害が現れます。**シャープネス**→表示画面を鮮明にします。**水平ポジション**→画像の水平ポジションを調整します。**垂直ポジション**→画像の垂直ポジションを調整します。⚙️を押して終了します。



8. メニューの調整

④を押して OSD 画面を表示させます。▲・▼を押して ③に合わせ、⑤を押して選択します。▲・▼を押してサブメニューに合わせ、⑤を押して選択し、▲・▼で調整します。**OSD タイマー**→OSD の表示時間を調整します。**言語設定**→画面に表示される言語を選択します。**リセット**→初期設定値に回復します。**バージョン**→出荷時の製品バージョン。⚙️を押して終了します。



9. 信号の選択

④を押して OSD 画面を表示させます。▲・▼を押して ③に合わせ、⑤を押して選択します。▲・▼を押してサブメニューに合わせ、⑤を押して選択し、▲・▼で入力ソースを選択します。**VGA**→入力ソースをアナログに選択します。**DVI**→入力ソースをデジタルに選択します。**MHL**→入力ソースを MHL デジタルに選択します。**自動探知**→入力信号を自動探知します。⚙️を押して終了します。



第3節 低電圧保護の警告

1. バッテリー残量が消耗すると、図のように、「低電圧保護の警告」が表示されますので、充電器供給電源に切り替えて下さい。または音量やバックライトの輝度を下げても使用時間が延長できます。バッテリー残量が不足すると、モニターは自動で音量や輝度を下げると、または終了状態になります。
2. モニターの最大消費電力は 2.0A です。音量が大きすぎると消費電力は 2.0A を上回り、「低電圧保護の警告」が表示されますので、ただちに音量や輝度を下げてください。決められた時間内に消費電力を軽減しない場合、モニターは自動で音量や輝度を下げます。



図：「低電圧保護の警告」がモニター右上に表示

第5章 仕様説明

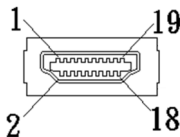
第1節 ブラグアンドプレイ

On-Lap モニターは、VESA DDC に適合し VESA DDC2 に対応します。DDC2B は PC で定められる双方向バスに基づきます。PC は DDC2B を通じて EDID を取得します。On-Lap モニターは、自己の情報を PC に伝え、DDC のレベルに基づき表示能力に関する情報も伝えることができます。

第2節 コネクタのピン配列説明と標準設定

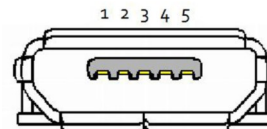
1. HDMI コネクタのピン配列

図：HDMI-A コネクタ（HDMI 出力ポートに接続）



| ピン | 名称 | ピン | 名称 |
|----|-------------------|----|---|
| 1 | TMDS Data2+ | 11 | TMDS Clock Shield |
| 2 | TMDS Data2 Shield | 12 | TMDS Clock - |
| 3 | TMDS Data2 - | 13 | CEC |
| 4 | TMDS Data1+ | 14 | Reserved |
| 5 | TMDS Data1 Shield | 15 | SCL (I ² C Serial Clock for DDC) |
| 6 | TMDS Data1 - | 16 | SDA (I ² C Serial Data Line for DDC) |
| 7 | TMDS Data0+ | 17 | DDC/CEC Ground |
| 8 | TMDS Data0 Shield | 18 | +5 V Power |
| 9 | TMDS Data0 - | 19 | Hot Plug Detect |
| 10 | TMDS Clock+ | | |

2. MHL コネクタのピン配列

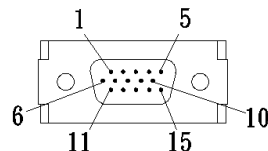


図：MHL コネクタ（スマートフォンの MHL 出力ポートに接続）

| ピン | 名称 |
|----|----------|
| 1 | Vcc(+5V) |
| 2 | D- |
| 3 | D+ |
| 4 | ID |
| 5 | Ground |

3. VGA コネクタのピン配列

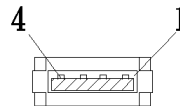
| ピン | 名称 | ピン | 名称 | ピン | 名称 |
|----|-------|----|------|----|-------|
| 1 | RED | 6 | RGND | 11 | NC |
| 2 | GREEN | 7 | GGND | 12 | SDA |
| 3 | BLUE | 8 | BGND | 13 | HSYNC |
| 4 | NC | 9 | +5V | 14 | VSYNC |
| 5 | GND | 10 | SGND | 15 | SCL |



図：VGA (D-Sub) コネクタ（D-Sub 出力ポートに接続）

4. USB 電源コネクタピン

| ピン | 名称 |
|----|----------|
| 1 | Vcc(+5V) |
| 2 | NC |
| 3 | NC |
| 4 | Ground |



図：USB ケーブルコネクタピン（5V DC 電源に接続）

5. 標準設定モード



| ディスプレイモード | | 解析度 | | |
|-----------|------|----------|----|----|
| 1 | VGA | 640x480 | 60 | Hz |
| 2 | VESA | 720x400 | 60 | Hz |
| 3 | SVGA | 800x600 | 56 | Hz |
| 4 | SVGA | 800x600 | 60 | Hz |
| 5 | XGA | 1024x768 | 60 | Hz |
| 6 | WXGA | 1366x768 | 60 | Hz |

第3節 仕様

| | |
|--------|---|
| パネル | 15.55" TFT LCD LED バックライト |
| 解像度 | 1366 x 768 (262K 色) |
| 視野角 | (上/下/左/右) 20° / 45° / 45° / 45° (標準) |
| コントラスト | 400:1 (標準) |
| 応答速度 | 8 (ms) (標準) / 16 (ms) (最大) |
| スピーカー | 2x1.0W (最大) (規格インピーダンス 8Ω/2KHz) |
| バッテリー | 9300mAh (2501Aはバッテリー無し) リチウムイオンポリマー二次電池) |
| 定格電圧 | 5V ■■■DC |
| 定格電力 | 最大消費電力 2.0A、 省電力モード: 1.0A (輝度設定 50%、音量設定 10) |

第4節 トラブルシューティング

1. 画面・音量出力の異常とその他よくある問題

| トラブル | 解決方法 |
|-------------------------------|---|
| 画面に何も表示されない | <ol style="list-style-type: none"> 「電源スイッチ」On/Off を DCIN に切り替え、USB 電源ケーブルの一端が 5V DC 電源に接続され、もう一端が On-Lap の DCIN 入力ポートに接続されているか確認して下さい。この場合「電源ランプ」が緑色に点灯していなければなりません。 映像ケーブル (HDMI/VGA/MHL) の一端が On-Lap の映像入力ポートに接続、もう一端がパソコン・携帯電話等の映像出力ポートに接続されているか確認して下さい。 |
| 画面に何も表示されない | OSD で輝度とコントラストを調整、または初期設定値に戻します。 |
| OSD で「無信号」との警告が表示された | 映像ケーブル (HDMI/VGA/MHL) の一端が On-Lap の映像入力ポートに接続、もう一端がパソコン・携帯電話等の映像出力ポートに接続されているか確認して下さい。 |
| 表示内容が消える、大き過ぎる、小さ過ぎる、中央に位置しない | この場合 VGA 入力ポートに接続していなければなりません。OSD で解像度やクロックレート、水平ポジション、垂直ポジションを調整して下さい。 |
| 音が出ない | 「静音」  ボタンが作動していないか確認して下さい。ホットキーの「  音量増加」を押して下さい。 |
| ホットキーが無反応 | 電源ランプが緑色に点灯しているか確認して下さい。「ホットキーロック」が作動していないか確認して下さい。ホットキーを使用する際は、指でホットキー表示の中心をタッチして下さい。 |

| トラブル | 解決方法 |
|--|---|
| モニターに「低電圧保護の警告」が表示され、モニターの輝度・音量が低下、またはモニターが終了状態になった | <ol style="list-style-type: none"> バッテリー残量が消耗して省電力モードになり、「低電圧保護の警告」が表示された可能性があります。充電器供給電源に切り替えて下さい。 音量が大き過ぎると消費電力は高くなります。音量や輝度を調整して下さい。 |
| MHL 入力ポートに接続したが、画面に何も表示されず、On-Lap モニターに「無信号 (No Signal)」と表示された | <ol style="list-style-type: none"> MHL ケーブルが MHL 入力ポートに正確に接続されているか確認して下さい。(DCIN に誤って接続しないよう、注意して下さい) 携帯電話を再起動し、携帯電話の MHL 映像出力機能が作動しているか確認して下さい。 携帯電話が標準 MHL (5 ピン) 出力に対応しているか確認して下さい。対応していない場合は、携帯電話メーカーの MHL-HDMI 変換コネクタを購入し、On-Lap2501 の HDMI 入力ポートに接続して下さい。 |

- ユーザーのパソコンに、「表示画面を複製する」「表示画面を拡張する」「縦向き(回転)」のメニューがない場合、パソコンのビデオカード機能が制限されている、もしくはパソコンが省電力モードでビデオカード機能が制限されているか、またはビデオカードドライバをアップデートする必要があります。パソコンメーカーまたはビデオカードチップメーカーのテクニカルサポートへ問い合わせして下さい。